

南口トピックス

第10号

平成15年7月8日発行

みなさんの質問にお答えします

市民集会で寄せられた ご質問・ご意見について

■ まちづくり基本構想(案)について、

地域のみなさんの意見をうかがいました。

平成15年4月19日(土)、サンライフ秦野にて、まちづくり市民集会を開催しました。当日は協議会から「鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想(案)」について報告を行い、参加者のみなさんから、貴重なご意見をいただきました。

また、鶴巻小学校、鶴巻中学校、そして地域の商業者のみなさんにご協力いただき、小学生のみなさんには「未来の鶴巻」の絵を描いていただき、中学生のみなさんと商業者のみなさんからは、「賑わいの拠点」についての提案をしていただきました。

■ 市民集会で寄せられたご意見を基本構想(案)に反映

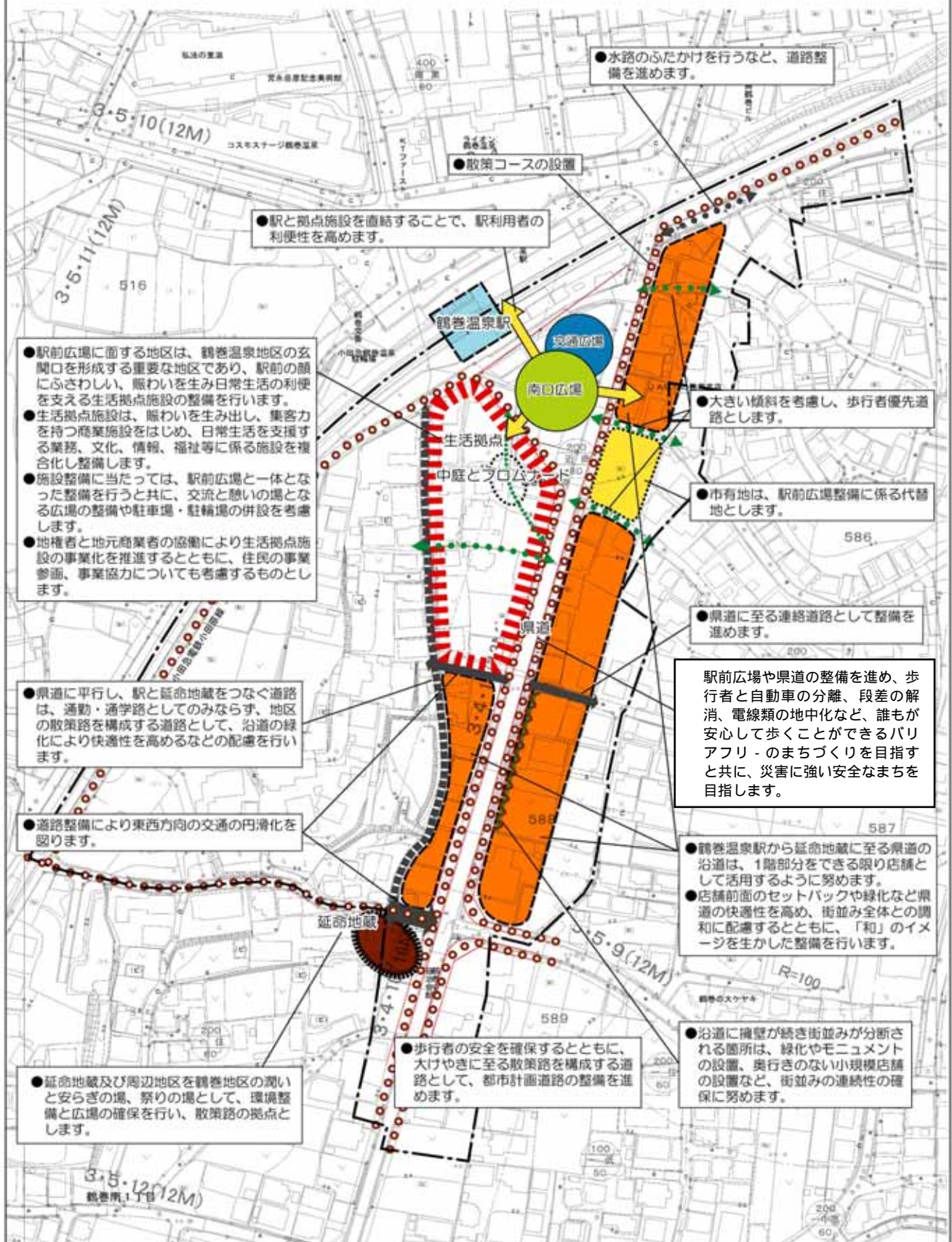
協議会では、まちづくり市民集会で寄せられたご意見をもとに、まちづくり基本構想(案)の「地域固有の歴史・文化を活かしたまちづくり」、「賑わいの拠点の形成」、「安全・快適な道路整備」そして「今後のまちづくりの進め方」などについて検討しました。

今回のトピックスでは、みなさんからのご質問、ご意見に対する回答と、これに基づく基本構想(案)の修正内容をお知らせします。

まちづくり基本構想(案) アンケート実施中

現在、協議会の作成したまちづくり基本構想(案)について、地域にお住まいのみなさんや地権者のみなさんに支持していただけるかどうか、アンケート調査を行っています。ぜひ、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想（案）



■ まちづくり市民集会での質問・意見とその対応

地域固有の歴史・文化を活かしたまちづくり

Q1 延命地蔵を活かしたまちづくりはとても良いと思う。具体的には鶴巻中学校の生徒さんたちの若い発想も取り入れるべきでは。

A1 鶴巻中学校のみなさんからの提案は、賑わいの拠点づくりの主体となる商業者組織に提供します。

また、「地域固有の歴史・文化を活かしたまちづくり」(構想(案)9ページ)に「延命地蔵をシンボルとした空間の創出」という取り組みを掲げていますが、具体的な検討を行う上では、中学校の生徒さんたちの意見なども取り入れていきたいと考えています。

賑わいの拠点の形成

Q1 賑わいのあるまちづくりのポイントとなる、誘客施策はどう考えているか。

A1 基本構想(案)は構想区域内の延命地蔵の活用や、賑わいの拠点の形成により、賑わいのあるまちの実現を目指すものですが、周辺部との関連性も考慮した内容となっており、構想区域を中心としながら、周辺部も一体となって、来街者を呼び込めるまちとなることが望ましいと思われます。また、「賑わいの拠点の形成」(構想(案)9~11ページ)では、まちの活性化を図る取り組みとして、「拠点形成のコンセプト」を掲げており、これを基にさらに具体的な誘客施策については、拠点形成の主体となる商業者組織が検討していくこととなります。

Q2 「賑わいの拠点」の形成を目指しているが、静かな住宅地とした方がよいのでは。

A2 地域のみなさんへのアンケートや意向調査の結果をもとに、駅前広場周辺部については「賑わいの拠点」の形成を目指していますが、これ以外の区域西側の地区については、落ち着いた環境の住宅地とするものとしています。(構想(案)6ページ)

安全・快適な道路整備

Q1 駅から鶴巻会館前交差点までの間に、1~2箇所の横断歩道を設置してほしい。

A1 「安全・快適な道路整備」の「歩行者の安全」(構想(案)12ページ)という項目の中に、県道を横断する歩行者の安全確保を図るということを追加します。

Q2 県道の歩道の幅はどのくらいになるか。

A2 両側に幅3mの歩道が設置されます。

今後のまちづくりの進め方

- Q1 駅舎の改善・改修について、小田急電鉄との具体的な話し合いが必要であると思われる。
- Q2 市内の小田急沿線で唯一取り残されている鶴巻温泉駅の改善（県道渋滞の原因となっている踏切との関係）はどうなっているか。
- Q3 駅舎の橋上化などを考えると、小田急電鉄の参加が必要ではないか。
- A1～3 県道・駅前広場・駅舎については、三位一体の整備が必要となります。まちづくり基本構想を策定した後は、この基本構想を市に提案しますが、その後、市がこの地区の「環境創出推進地区基本計画」を策定する際には、小田急電鉄との協議を行うよう、市に依頼します。

その他

- Q1 長浜視察でどのような点が参考になったか。
- A1 長浜市の「黒壁スクエア」は協同組合によって運営されており、どのような業種の店舗を配置するかといったことについても、計画性を持って進められています。
- 賑わいの拠点の形成においても、施設・業種のバランスが重要であると考え、拠点づくりの主体となる事業者等に対しても、このことをコンセプトとして投げかけたいと考えています。
- 「拠点形成のコンセプト」（構想(案)12ページ）の「駅前のシンボル空間を創る」の内容に、業種のバランスを考慮するというを追加します。

■ 今後のまちづくりの進め方

まちづくり市民集会でのご質問・ご意見をもとに、まちづくり基本構想(案)を一部修正いたしました。この基本構想(案)について、構想区域内にお住まいの方や構想区域内の土地・建物について権利をお持ちの方を対象としてアンケートを実施し、みなさんが基本構想(案)を支持していただけたかどうかを調査いたします。そして、過半数の方からの支持が得られたことを確認した後に「まちづくり基本構想」は完成となります。

まちづくり基本構想が完成した際には、あらためて地域のみなさんにお知らせします。

まちづくり基本構想のうち、行政が主体となる公共施設整備などに関する事項については、市が策定する「環境創出推進地区基本計画」に定める事項として、市に対して“提案”をいたします。

また、土地利用の内容や、街並みづくりなどについては、地域住民が主体となった、多くの方に支えられたまちづくりを進めていきたいと考えています。



発行：鶴巻温泉駅南口まちづくり協議会事務局

TEL:0463-77-1056(今井)